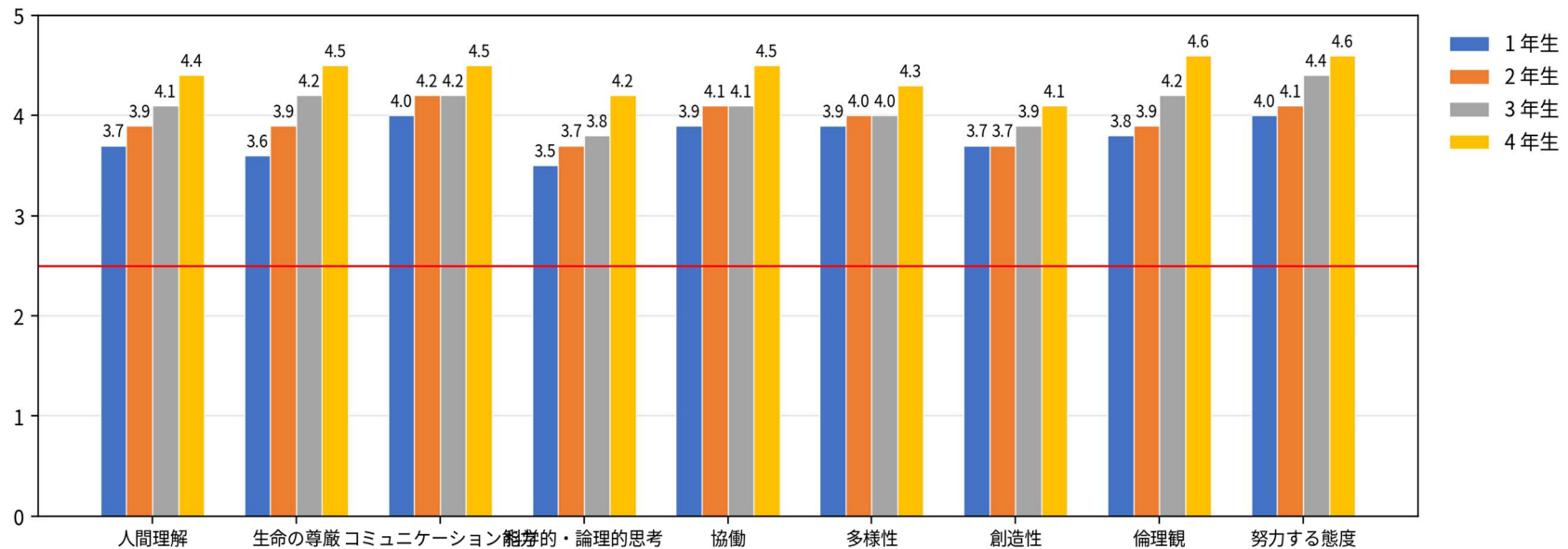


学修成果の把握（学科の目標 学位授与の方針）（保健看護学科）

1. 各学年の分析対象数は、1年生が132名(98.5%)、2年生が83名(91.2%)、3年生が39名(44.3%)、4年生が27名(32.1%)であった。
2. 全学年を通して、全ての項目及び学年において平均2.5以上であった。
3. 全学年を通して高得点の項目は、「努力する態度 4.2 (4.2)」「コミュニケーション能力 4.1 (4.2)」、「協働 4.0 (4.1)」、「多様性 4.0 (4.0)」であった。低得点の項目は「科学的・論理的思考 3.7(3.8)」、「創造性 3.8 (3.9)」であった。「努力する態度」以外は、昨年度より全体的に少々得点が下がっていた。3年生・4年生の回答率の低下によるものと推察された。
4. ほぼ全ての項目において、学年があがるにつれ平均点が上昇しており、学生は着実に学修を深めていると思われる。特に「人間理解」「生命の尊厳」「倫理観」は、学年があがるにつれ平均点があがるという傾向が顕著であり、特に臨地実習等の経験が大きく寄与しているものと推察された。また、「努力する態度」も高得点となっており、授業や実習においても意欲を保ち、懸命に学修に取り組んでいたと思われる。今後も教員は工夫した授業や実習を行い、学生がより積極的に学べるような環境整備に取り組む必要がある。



	人間理解	生命の尊厳	コミュニケーション能力	科学的・論理的思考	協働	多様性	創造性	倫理観	努力する態度
全学年平均	3.9	3.9	4.1	3.7	4.0	4.0	3.8	3.9	4.2